経験に徴しても明らかである。さすれば、折角の再組織運動が又もや、暗礁に乗り上げる事になるので、本評議会としては、総同盟を除じ、他の団体諸君と同じく一日も早く成立せんことを希ふてあるので、不敢取、準備過程の順調円滑を期する措置を講ずるじとの態度を声明した。

斯くて此會合は無事終了し、引き續いて、第二回を二月十三日に、第三回を二月三日及四日に東京及大阪で会合があり、遂に三月五日一橋千里に結党式を挙行した。

此間、吾等が最も遺憾に堪へざりしは、総同盟の一部幹部連が、常に公々然と「共産党系排斥」を絶叫し、すくなくとも、右一部幹部連の意に反するものはことごとく、「共産系」又は「その一派」と内約ある云々との宣傳を為し、特に本評議会等へは、真向より「共産党の手先」と中傷し、本評議会が、前述の如く、準備運動より退席辞退せるを好貨として成立せる政党そのものよりも除外せんと画策せるが如き、本評議会を能く追、一般大衆並に他系及団体を分離せしめんと努めたるは 吾等の甚だ遺憾とする所のみならず、準備運動そのものに絶えず困乱を招く惧れが多くあり、総同盟は果して、幾許の誠意を以て、此の準備運動に参加せるや、その真意を疑ふべき点が多くあつた。

更に、準備運動の途中に於て、一部学者連と総同盟最高幹部連が突如「叙之

労働党」若しくは「独立労働協会」設立の運動を起せるが如きは、益々吾々の抱く疑問を深からしめたものであつた。

斯くして或る時は、総同盟のみは除かれて、再組織運動が進められんとする形勢にあつたが斯く、正義の前に総同盟が屈服して、無事結党を見たのである。

更生した無産政党の党名は「労働農民党」と呼び、党主には現日本農民組合長杉山元治郎氏が推された。

吾等は以上の如く、迂餘曲折を經たりとも、此処に吾国最初の大衆的無産政党が成立したことを心から喜び、且つ、此為に献身的努力を惜まれざりし全無産團体の代表者諸君に、深甚なる敬意を表するものである。

失業反對運動

失業反対運動の輿論喚起の為、特に七月十日、労働新聞號外を発行し續いて第四回中央常任委員会は各地組合へ、係友団体と協力して失業反対運動を起す様指令を発した。

其後、大阪、東京、神戸、京都其他に「失業対策協議会」若しくは「失業反